



NO.999  
2014.12.7  
発行所  
日本共産党  
網走市委員会  
網走市北八西三  
四三二一四四五八  
F四三二一四四五七

# 「消費税にたよらない別の道」

## 日本共産党の衆議院選政策その2

### 被用者保険の保険料上限を 見直します

サラリーマンの社会保険料は、年金は月給62万円、医療や介護は月給121万円で頭打ちとなり、それ以上は、月給が何百万円であっても保険料は増えません。こうした高額所得者優遇の仕組みをあらため、高額所得者に適正な負担を求めます。

### 2 大企業の内部留保の一部を活用し、国民の所得を増やす経済改革で、 増税を増やします

「為替投機課税」を新設します  
多額の為替取引に対して低率で課税する「為替取引税」を創設します。東京外為市場の取引額は年間推計94兆ドル(2013年度)で、この15年間に2.5倍以上になっています。

### 環境税を強化します

この間、「地球温暖化対策の課税」として、石油石炭税の上乗せ措置が実施されましたが、環境対策という点からは不十分なものととらえており、強化します。また、低所得者や寒冷地の負担軽減対策をあわせて行います。

### 将来は、「応能負担」 の所得税改革をすすめます

次に述べる経済改革を実行して、将来、国民の所得が増えた段階で、

和を根本から見直し、人間らしく働ける雇用のルールをつくることです。

### 生涯ハケン」を押しつける労働者派遣法の大改悪や、 残業代ゼロ」の働かせ方を合法化するホワイトカラーエグゼンプション、 裁量労働制の拡大に反対します。 社会保障の連続改悪をストップし、 拡充をすすめます

日本共産党は、安倍政権による社会保障切り捨ての暴走をやめさせ、充実をすすめます。年金削減をストップし、低年金を底上げして「減らない年金、頼れる年金」を実現します。国の責任で、高すぎる医療費の窓口負担や国民健康保険料の軽減をすすめます。特養ホームの待機者、保育所の待機児をなくします。国民生活の基盤である社会保障の充実は、家計をあたため、地域に新たな仕事と雇用を生み出し、経済再生にも貢献します。

### TPP交渉から撤退し、 農林漁業、中小企業と地域経済を振興します

アメリカ型の市場原理主義を「国際ルール」として押しつけ、農業や食品安全、医療、中小企業支援、環境保全など広範な分野で日本の経済主権を脅かすTPP交渉から、ただちに撤退することを求めます。農業を国の基幹産業として位置づけ、安心して農業を続けられるように、価格保障・所得補償を抜本的に強化します。中小企業を日本経済の根幹と位置づけ、中小企業全体を視野に入れた

振興・支援策に転換します。

### 「原発ゼロ」の日本で、 自然エネルギー先進国をめざします

日本のすべての原発が停止して1年2か月がたちますが、電力不足はどこにも起きていません。この間、国民や企業の節電、省エネによる努力で減った電力消費は、「原発13基分」とされています。原発再稼働をストップし、「即時原発ゼロ」を決断し、原発にたよらず、省エネ・節電の徹底と、再生可能エネルギーの大幅導入をすすめます。

### 2%台の名目成長で、 10年間で 20兆円の増税増を実現します

日本でも、国民の所得を増やし、経済の好循環を実現できれば、平均2%台の成長は可能です。そうすれば、増税も増え、10年後には、国税・地方税あわせて20兆円を超える自然増収を実現できます。

### 社会保障充実・暮らしの向上と、 財政危機打開の両立をはかります

「能力に応じた負担」の原則をつらぬく税制改革で20兆円、国民の所得を増やす経済改革による税の自然増が20兆円、あわせて40兆円の財源を確保すれば、今後10年間で、社会保障の抜本的拡充をはじめ、教育や暮らし向上のための施策に取り組みながら、財政の健全化をすすめていくことが可能になります。

## 流水

「明日がある、明日がある♪」と故坂本九さんが歌っていたのは確か1970年代。ニキビの跡が残るどこか愛嬌ある顔で明るい声。独特の細かなビブラートの入った歌声は老若男女を問わず人気がありました。懐かしく思い出されます。▼今なら、この歌、はやるかしら？若い人たちが「明日がある、明日がある♪」という歌詞を受け入れるかしら？と思ってしまう。▼労働法制という企業の働かせ方を規制し、働く人たちを守る法律が次々と改悪されて「派遣」という働き方を余儀なくされる人がどんどん増えました。いつ首を切られるか分からない、ワーキングプアといわれる低賃金結婚できる収入もない。文字通り夢も希望もない暮らしを強いられる若い人達▼1970年代はどんな中小企業でも正社員が当たり前。ちゃんと家庭をもつて子どもも育てられました。「明日があるさ」という歌は恋の歌ではありませんが、暮らしている時代でも「明日がある」と希望が持てる時代でありました。だからこの歌が受け入れられたのだと思うのです。▼夢や希望を持って、「明日」を信じられない世の中になってしまったのは自然災害などの不可抗力ではなく、政治の結果そのものです。つくづく思います。「明日がある、明日がある♪」と坂本九さんのようにみんなが明るく歌える世の中になればいいな。ちよつと違う、なればいいななんて人任せではなく、みんなであつくらなくちゃ、政治を変えなくちゃ(〇)